

# お赤飯アンケート分析

(2016年版)



1. 調査実施概要	.....Page2
2. 「お赤飯」の嗜好性	.....Page3
3. 「お赤飯」を食べる頻度	.....Page4
4. 「お赤飯」の入手方法	.....Page5
5. 「お赤飯」に求めるもの	.....Page6
6. 「お赤飯」の食事機会	.....Page7
7. 「お赤飯」の食事機会の変化	.....Page8
8. 「お赤飯」の食卓	.....Page9
9. ハレの日のメニュー(献立)	.....Page10
10. 「お赤飯」のキーワード	.....Page11
11. 「お赤飯」を食べる行事	.....Page12
12. 「お赤飯の日」の認知度	.....Page13

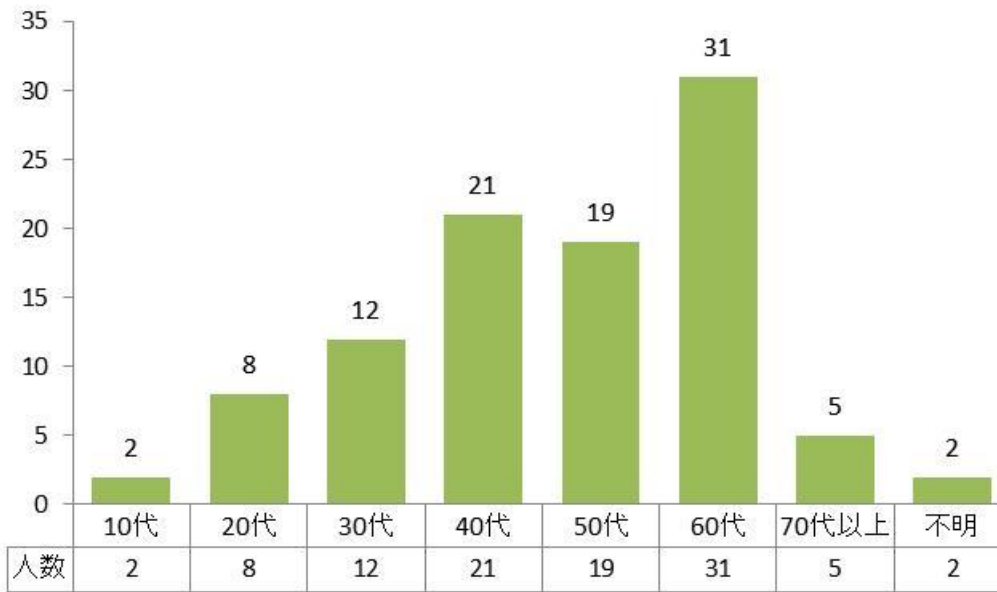
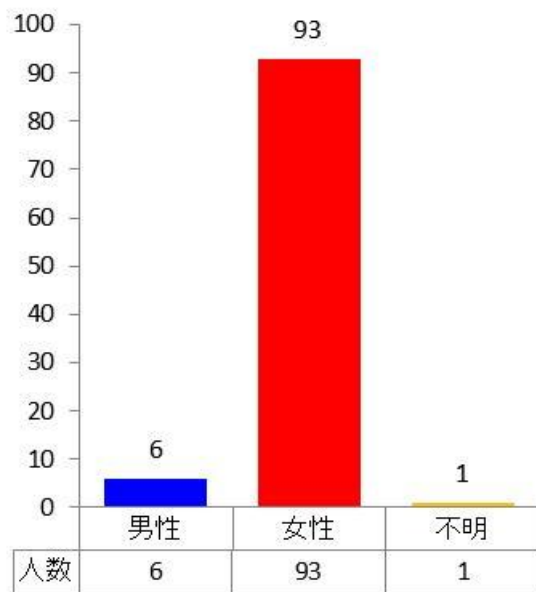
# 1. 調査実施概要

■調査方法：展示会におけるアンケート形式

■調査期間：2016年4月28日(木)～30日(土)

■モニター条件：通販商品プレゼント対象者

■有効回収数：100人



## 2. 「お赤飯」の嗜好性

### ■「お赤飯」は好きですか？

「お赤飯」が『好き』『どちらかと言えば好き』と答えた人は、全体の9割を超えました。  
⇒その理由として、赤飯特有の「もちもち感」を理由にあげる人が多い傾向にありました。

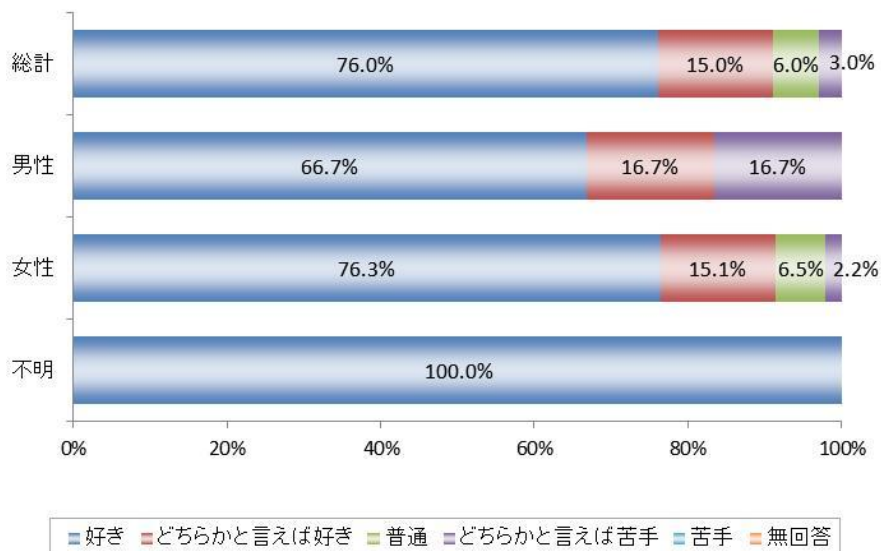
性別

男性よりも女性の方が「お赤飯」を好む傾向にあります。

年代別

年齢層が上がるほど「お赤飯」を好む人の割合が高い傾向にあります。

【性別】



【年代別】



# 3. 「お赤飯」を食べる頻度

■「お赤飯」をどれくらいの頻度で食べますか？

「お赤飯」を食べる頻度は、『2～3ヶ月に1回』が一番多い結果となりました。  
⇒イベント事・季節事に1回食べる傾向にあると考えられます。

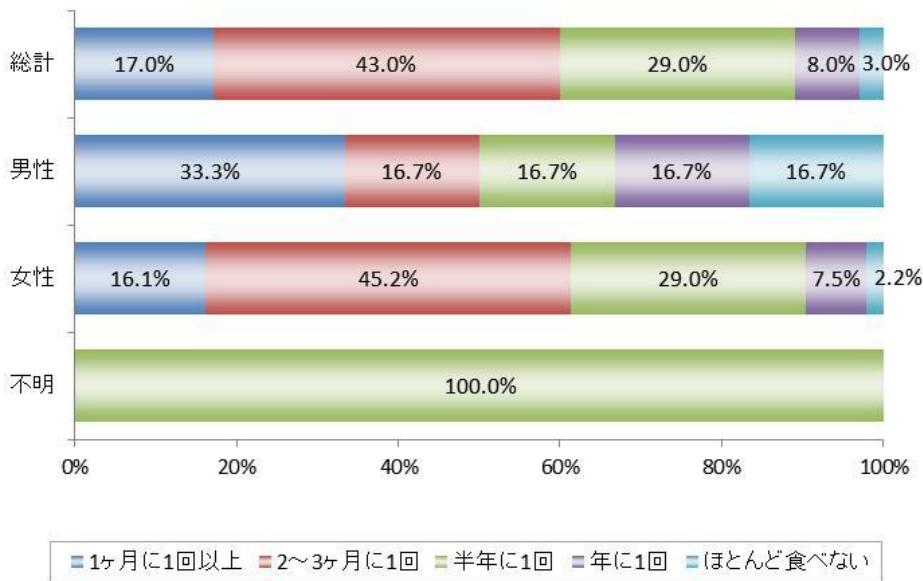
性別

男性、女性ともに5割以上の方が2～3ヶ月に1回以上は「お赤飯」を食べていることが分かりました。

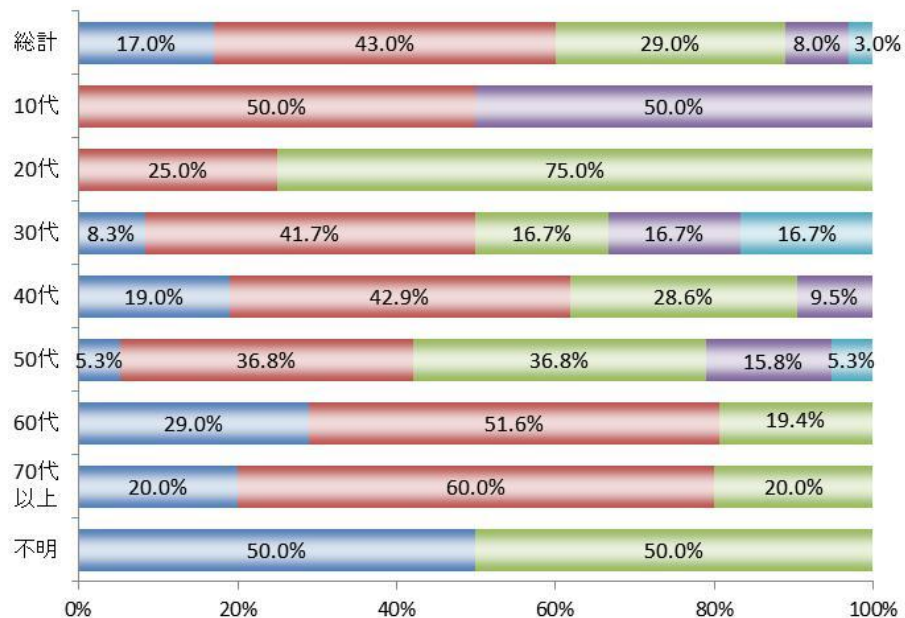
年代別

60代以上の方が「お赤飯」を食べる頻度が高い傾向にあります。

【性別】



【年代別】



# 4. 「お赤飯」の入手方法

■「お赤飯」は、どのように入手しますか？(複数回答)

「お赤飯」の入手方法は、『自分で作る』や『スーパーで買う』が多いという結果になりました。

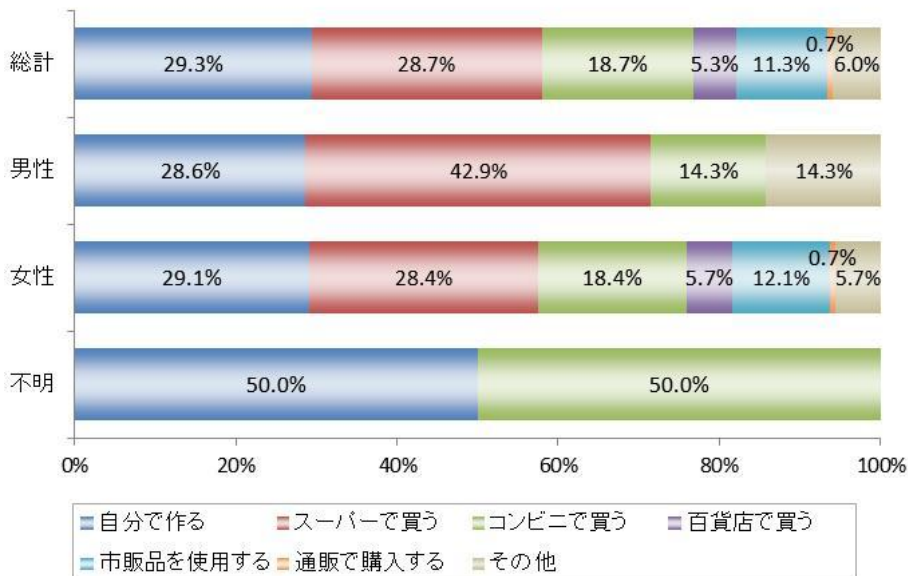
**性別**

女性よりも男性の方が『スーパー、コンビニで買う』傾向にあります。

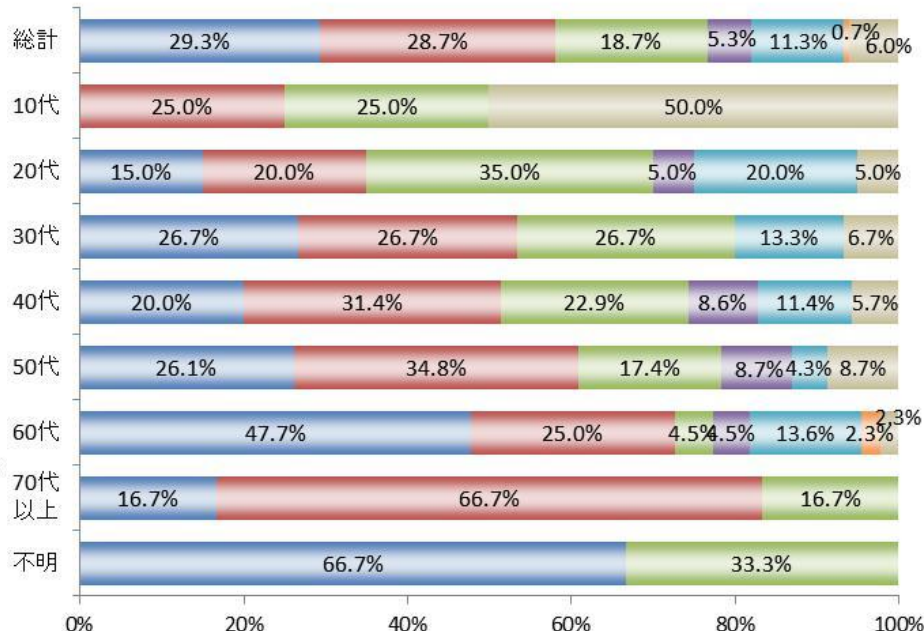
**年代別**

60代は『自分で作る』が多いです。一方、70代以上になると、調理に手間がかかるため、『スーパーで買う』傾向が高くなります。若年層は『コンビニで買う』傾向が高く、コンビニで赤飯おにぎりを買っていると推測できます。

【性別】



【年代別】



# 5. 「お赤飯」に求めるもの

## ■「お赤飯」に求めるものは何ですか？(複数回答)

消費者は「お赤飯・おこわ」に対して『食感(もちもち感)』『味付け・風味』を重視し、『価格』『原料』に対するこだわりを上回る傾向にあります。

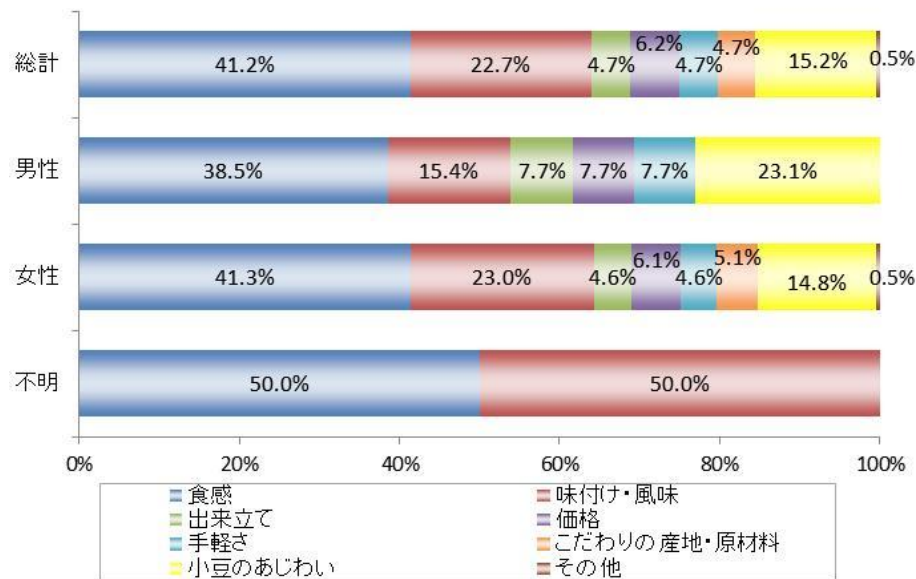
**性別**

男性、女性ともに『食感(もちもち感)』を求める傾向にあります。

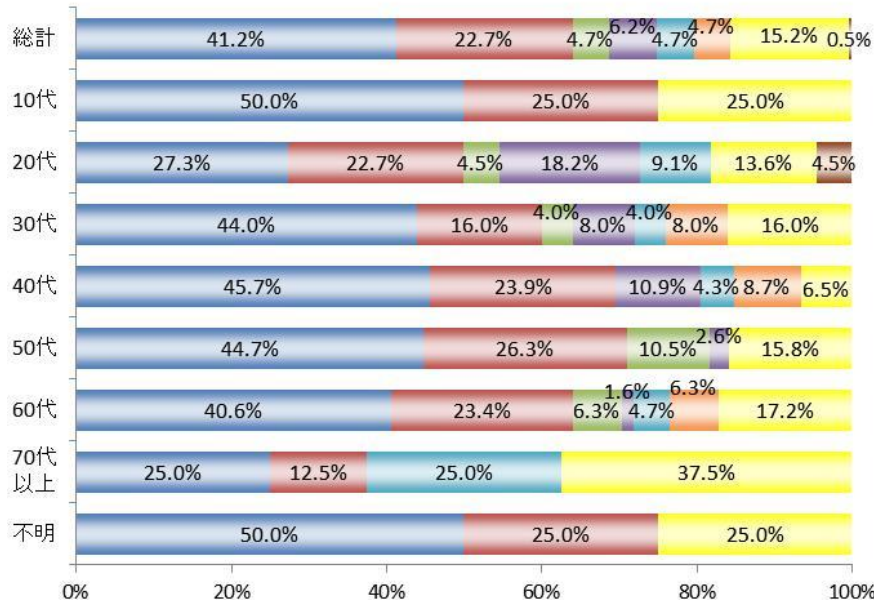
**年代別**

20代は他の年代に比べて『価格』の割合が高い傾向にありました。70代以上では『小豆のあじわい』を求める傾向が高く、また『手軽さ』を求める傾向も他の年代に比べ高い傾向にありました。

【性別】



【年代別】



# 6. 「お赤飯」の食事機会

## ■「お赤飯」はどんな時に食べますか？(複数回答)

『誕生日』『入学式・卒業式』などお祝い・イベントの時に良く食べられる傾向にありました。  
次いで、『普段の食事として』食べられる傾向にあり、「お赤飯」の人気が高いことが伺えます。

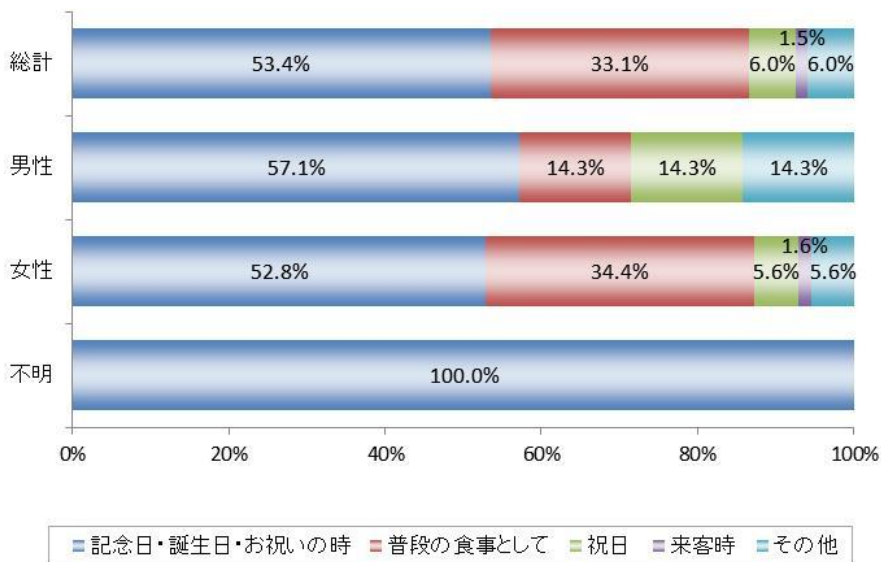
### 性別

男性、女性ともに『記念日・誕生日・お祝いの時に』食べる傾向が高い結果となりました。

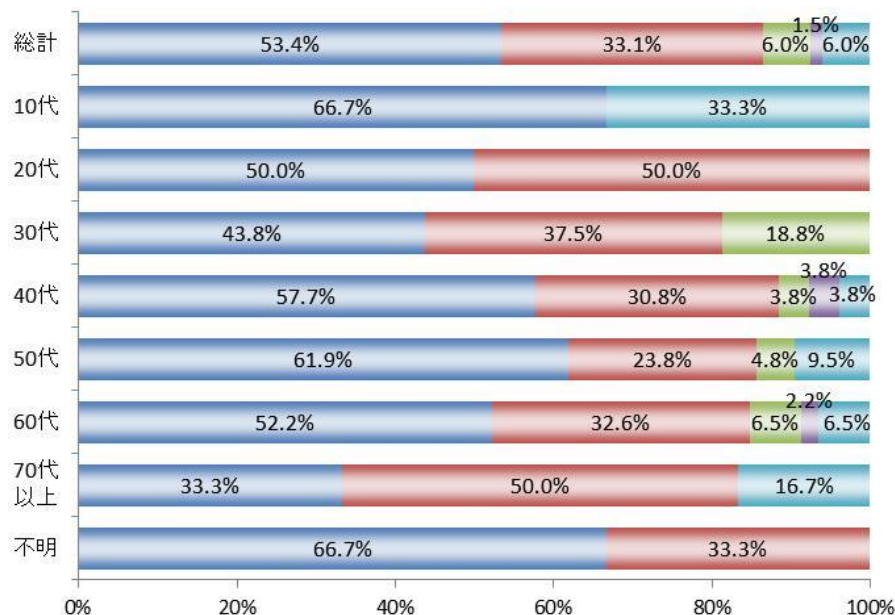
### 年代別

70代以上を除くどの年代も『記念日・誕生日・お祝いの時に』食べる機会が多く、子供や孫の成長に合わせた節目に食べていると考えられます。  
70代以上は『普段の食事として』食べる傾向が高いです。

【性別】



【年代別】



# 7. 「お赤飯」の食事機会の変化

■2～3年前と比較して「お赤飯」(おにぎり含む)を食べる機会は増えましたか？

全体的に「お赤飯」の食事機会は2～3年前と比較して『変わらない』人の割合が高く、また、『減った』よりも『増えた』割合の方が高い結果となりました。

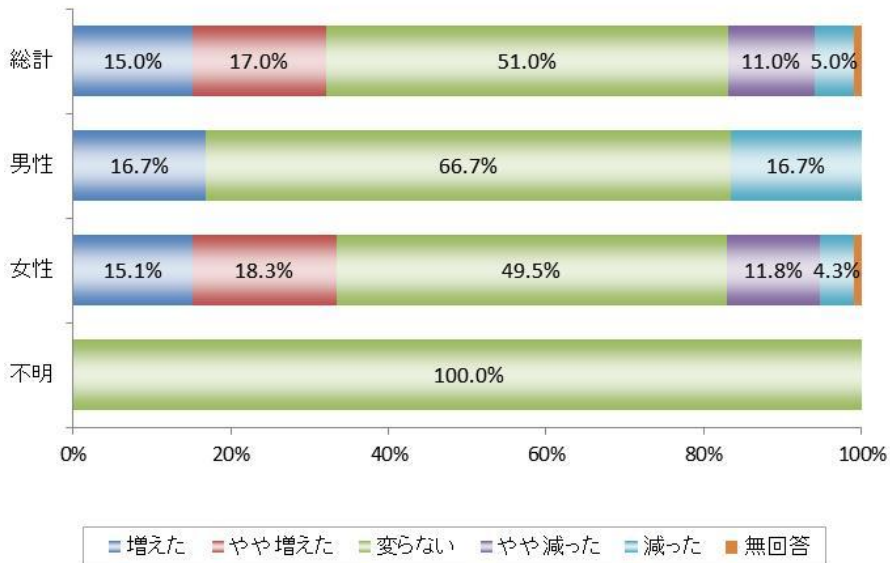
増えた理由

『手軽に作ることができる「素」があるから』『手軽に手に入る』『コンビニおにぎりの購入』など**手軽さ**を重視している意見が多く見られました。

減った理由

「**米飯**が少なくなった」「**子供**が成長して**祝い事**が少なくなったため」などの**食の環境の変化**が理由であることが分かりました。

【性別】



【年代別】





# 8. 「お赤飯」の食卓

## ■お赤飯と一緒に何を食べたいですか？(複数回答)

『みそ汁やお吸い物などの汁物』『煮物』『漬物』などの和風でベーシックなものが好まれる傾向にあります。

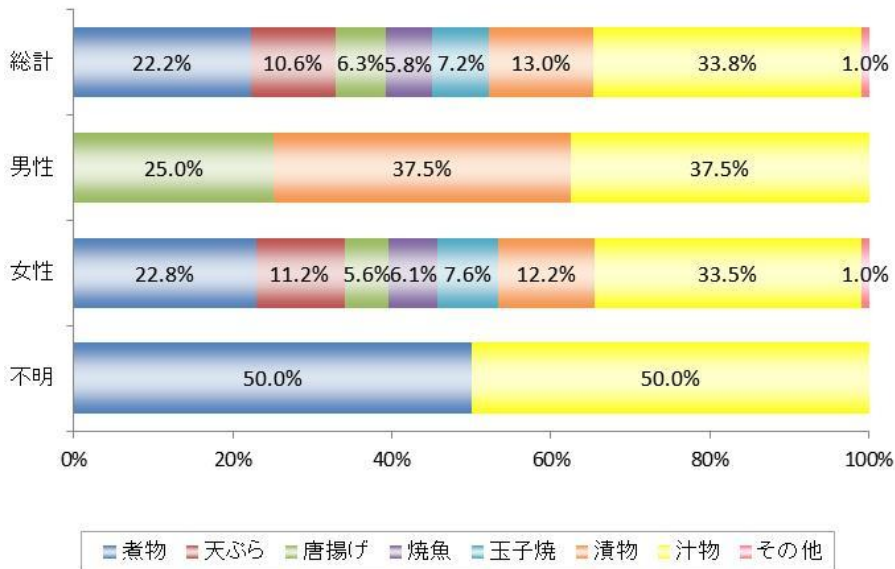
**性別**

女性・男性共に『みそ汁やお吸い物などの汁物』を好む傾向、男性は『漬物』や『唐揚げ』も好む傾向にあります。

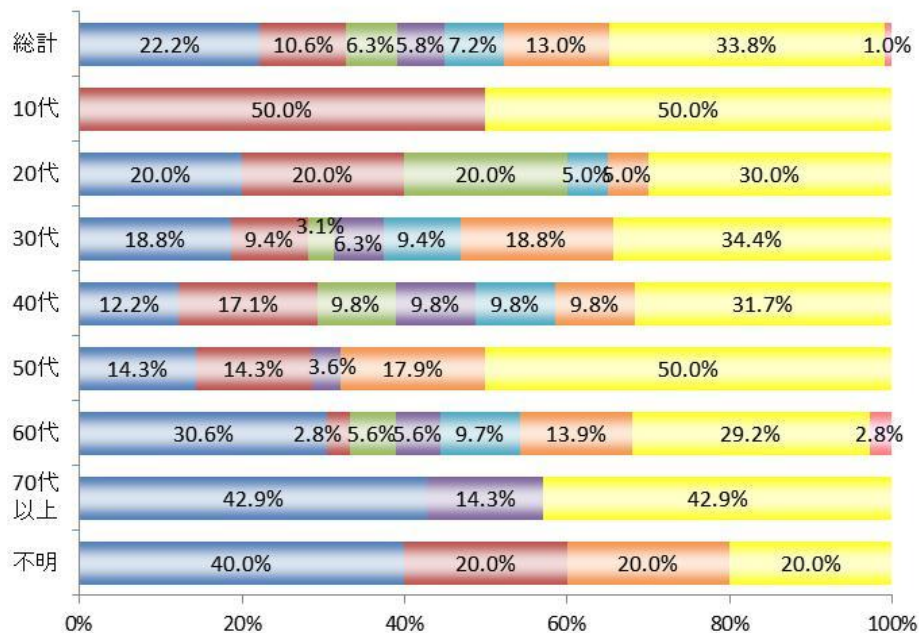
**年代別**

年齢層が上がるほど『煮物』『焼魚』と和風でベーシックなものを好む傾向、年齢層が下がるほど『天ぷら』『唐揚げ』と揚げ物を好む傾向にあります。

【性別】

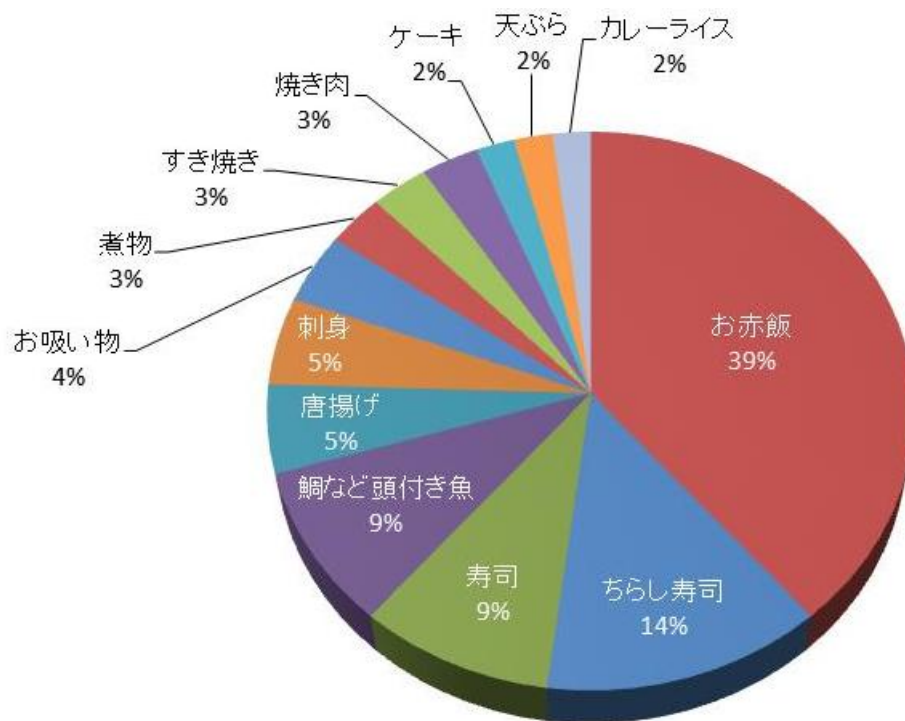


【年代別】



## 9. ハレの日のメニュー(献立)

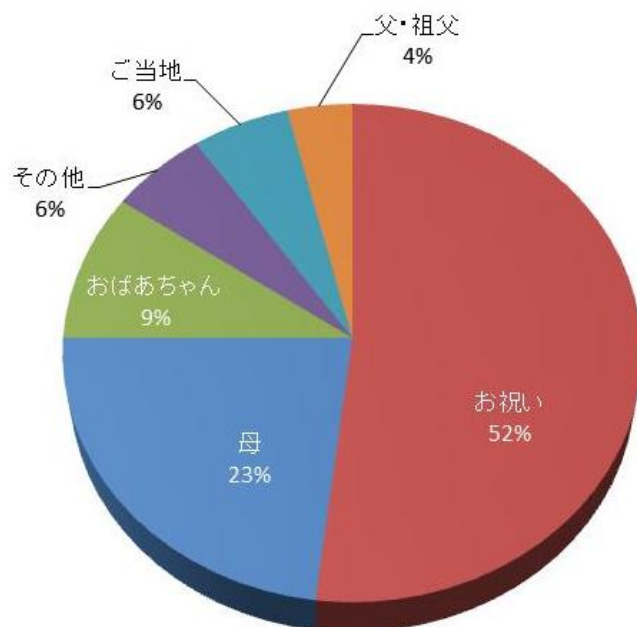
■ハレの日のメニュー(献立)と言えば、何を思い浮かべますか？(自由回答)



ハレの日のメニュー(献立)は、『赤飯』と答える人が3割以上を占める結果となりました。  
次いで、『ちらし寿司』という結果になりました。

⇒「お赤飯」はお祝いごとなど特別な日に食べるメニューであることが伺えます。

## ■お赤飯に関する思い出(自由回答)



「お赤飯」に関する思い出は、1位『お祝い』、2位『母』という結果になりました。

●特に、30代以上に多かった意見が『お祝い』『母の手作り』です。  
⇒入学式・成人式など子どもの成長に合わせたお祝い、ハレの日

●共通するキーワードは、『子供の頃の思い出』  
⇒親世代である30代以上に「お赤飯」を作ってもらう事・食してもらう事が、今後のお赤飯の消費拡大につながると考えられます。

●地域ごとのお赤飯の違いに驚いたとの回答もありました。(北海道・新潟など)

# 11. 「お赤飯」を食べる行事

■「お赤飯」を食べるお祝いや行事(複数回答)

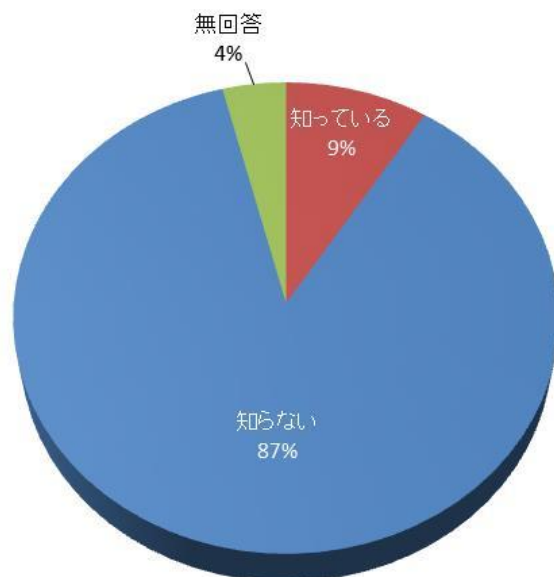


年間を通して、各種お祝いや行事、季節の節目にお赤飯が食べられています。  
「お赤飯」=日本のお祝いごとや行事などによく食べられるメニューであることが伺えます。

● 「成人式」や「入学式」には4割以上の方がお赤飯を食べると回答しました。



■11月23日は「お赤飯の日」ですが、知っていますか？



「お赤飯の日」の認知度は、9%と認知度がまだまだ低いことが分かりました。

- 昨年とほぼ同程度の認知度でした。
- 「お赤飯の日」を知っている人は、BtoC展示会『ホビークッキングフェア』で認知することが多い結果となりました。直接、消費者にPRできる貴重な機会になっていることが分かりました。
- 11月23日の「お赤飯」需要を拡大するため、消費者が「お赤飯」を食べる動機づけを喚起する必要があります。